



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月7日

上場会社名 株式会社 F U J I 上場取引所 東 名  
 コード番号 6134 URL <https://www.fuji.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 曾我 信之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員コーポレート本部 (氏名) 加納 淳一 TEL 0566-81-2111  
 本部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 2022年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	78,670	8.4	13,803	△6.5	15,992	4.9	11,180	0.1
2022年3月期第2四半期	72,558	2.7	14,762	29.4	15,241	25.8	11,165	28.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 14,495百万円 (28.1%) 2022年3月期第2四半期 11,315百万円 (△3.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	115.92	—
2022年3月期第2四半期	115.77	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	251,509	219,936	87.4
2022年3月期	243,310	208,782	85.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 219,814百万円 2022年3月期 208,665百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2023年3月期	—	40.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	11.4	30,000	5.4	32,000	6.9	22,400	5.7	232.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	97,823,748株	2022年3月期	97,823,748株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,361,372株	2022年3月期	1,378,045株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	96,452,918株	2022年3月期2Q	96,438,797株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料の3ページをご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料につきましては、2022年11月7日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8
3. その他 .....	10
(1) 受注及び販売の状況 .....	10
(2) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や円安の進行により物価が上昇したものの段階的な経済活動の再開とともに個人消費は持ち直しが持続し、企業の設備投資も高水準の企業収益に下支えされ回復基調が続きました。世界経済は、欧州ではウクライナ情勢に起因する高インフレや金融引き締めにより景気が下押しされました。一方、中国では活動制限の影響を受けつつも景気に持ち直しの動きが見られ、北米では景気の回復が持続し、企業の設備投資も堅調に推移しました。しかし、製造業において、中国のロックダウンやロシアのウクライナ侵攻をきっかけとしたサプライチェーンの混乱による生産・販売への影響は全世界的に先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当グループは、『お客様に感動を！』のコーポレートスローガンのもと、ロボット技術を軸に時代を捉え未来を切り拓いていくことを成長戦略の基本とし、変革にチャレンジしてまいりました。来たるべき未来を見据えた魅力ある製品の開発に取り組み、主力の電子部品実装ロボットの分野では、お客様の生産自動化・省人化を実現するためにハイエンドモデル「NXTR」を軸としたSMTラインのスマートファクトリー化を推進してまいりました。さらに、医療分野への進出に向けてカテーテル医療を支援する「エコガイドロボット」を開発し、医師による評価試験を実施するなど、社会的課題解決に向けた新規事業の創出にも積極的に取り組んでおります。また、工作機械の分野では、主力機種「CS」「TN」シリーズのバージョンアップにより、標準機としての汎用性を高めるとともに国内外販売網を強化して新たな市場への拡販を進めてまいりました。そのほか、カーボンニュートラルに向けて環境に配慮した省エネ設計、ものづくりの効率化を推進するとともに、DXを積極的に取り入れることで、ペーパーレス化やWEB会議、テレワークの推進をはじめとする業務改革により固定費の一層の削減などに取り組み、収益性の向上を目指してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は78,670百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて6,111百万円(8.4%)増加しました。一方、部材の価格高騰および供給不足により、営業利益は13,803百万円と、前第2四半期連結累計期間に比べて959百万円(6.5%)減少しましたが、為替市場における円安の進行により為替差益が増加したことから、経常利益は15,992百万円と、前第2四半期連結累計期間に比べて751百万円(4.9%)増加しました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前第2四半期連結累計期間と比べて15百万円(0.1%)増加し、11,180百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ロボットソリューション

当社の主力市場であるスマートフォン関連は引き続き軟調に推移するも、欧米を中心とする車載、産業機器、通信インフラ等の継続的な設備投資により売上高は71,508百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて3,617百万円(5.3%)増加しました。一方、部材コストの高騰等の影響により、営業利益は15,885百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて666百万円(4.0%)減少しました。

#### マシンツール

北米を中心とする自動車関連設備需要増に伴い、売上高は5,325百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比べて1,747百万円(48.8%)増加しましたが、営業損益は314百万円の損失(前年同四半期：営業損失299百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は173,811百万円となり、前連結会計年度末から7,832百万円増加しました。これは主に棚卸資産が8,333百万円増加したことによるものであります。固定資産は77,698百万円となり、前連結会計年度末から366百万円増加しました。

この結果、資産合計は、251,509百万円となり、前連結会計年度末から8,199百万円増加しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は30,093百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,943百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が2,625百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,479百万円となり、前連結会計年度末と比べ11百万円減少しました。

この結果、負債合計は、31,572百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,954百万円減少しました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は219,936百万円となり、前連結会計年度末から11,153百万円増加しました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が3,375百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が11,180百万円、為替市場における円安の進行により為替換算調整勘定が4,470百万円増加したことによるものであります。

## (3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比べ41百万円減少し59,496百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは5,981百万円の収入（前年同四半期：6,976百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益や減価償却費などのプラス要因が、棚卸資産の増加額や法人税等の支払額などのマイナス要因を上回ったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは4,265百万円の支出（前年同四半期：5,144百万円の支出）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出などによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3,416百万円の支出（前年同四半期：3,104百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額によるものであります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高に関しては2022年8月5日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更ありませんが、営業利益、経常利益、当期純利益については、材料費等のコストが及ぼす影響を精査した結果、以下の通り修正いたします。

## 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	165,000	29,200	30,600	21,800	226.03
今回発表予想 (B)	165,000	30,000	32,000	22,400	232.24
増減額 (B - A)	—	800	1,400	600	—
増減率 (%)	—	2.7	4.6	2.8	—
前期実績 (2022年3月期)	148,128	28,472	29,943	21,188	219.70

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	59,481	59,288
受取手形及び売掛金	38,972	42,466
有価証券	7,579	7,001
商品及び製品	14,434	15,433
仕掛品	24,484	26,443
原材料及び貯蔵品	12,417	17,792
その他	8,705	5,487
貸倒引当金	△96	△102
流動資産合計	165,978	173,811
固定資産		
有形固定資産	26,337	27,235
無形固定資産		
のれん	11,642	11,157
その他	14,167	13,949
無形固定資産合計	25,809	25,107
投資その他の資産		
投資有価証券	20,433	19,805
退職給付に係る資産	2,362	2,530
その他	2,388	3,019
投資その他の資産合計	25,184	25,355
固定資産合計	77,331	77,698
資産合計	243,310	251,509
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,463	9,838
未払法人税等	5,960	4,722
製品保証引当金	812	816
その他	13,801	14,716
流動負債合計	33,037	30,093
固定負債		
退職給付に係る負債	326	379
その他	1,163	1,099
固定負債合計	1,490	1,479
負債合計	34,527	31,572
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,878	5,878
資本剰余金	7,077	7,091
利益剰余金	185,301	193,106
自己株式	△1,657	△1,637
株主資本合計	196,600	204,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,162	6,039
繰延ヘッジ損益	55	57
為替換算調整勘定	4,766	9,236
退職給付に係る調整累計額	80	40
その他の包括利益累計額合計	12,065	15,374
非支配株主持分	117	122
純資産合計	208,782	219,936
負債純資産合計	243,310	251,509

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	72,558	78,670
売上原価	43,384	48,476
売上総利益	29,173	30,193
販売費及び一般管理費	14,410	16,390
営業利益	14,762	13,803
営業外収益		
受取利息	42	67
受取配当金	344	356
為替差益	87	1,694
雑収入	58	155
営業外収益合計	532	2,273
営業外費用		
支払利息	1	3
支払手数料	47	57
寄付金	1	13
雑支出	3	10
営業外費用合計	53	84
経常利益	15,241	15,992
特別利益		
固定資産処分益	17	5
投資有価証券売却益	82	0
段階取得に係る差益	395	—
特別利益合計	494	6
特別損失		
固定資産処分損	45	104
投資有価証券売却損	27	—
その他	—	0
特別損失合計	72	104
税金等調整前四半期純利益	15,663	15,894
法人税、住民税及び事業税	4,183	4,808
法人税等調整額	295	△90
法人税等合計	4,479	4,717
四半期純利益	11,184	11,177
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に 帰属する四半期純損失(△)	19	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,165	11,180

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	11,184	11,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	257	△1,122
繰延ヘッジ損益	△23	2
為替換算調整勘定	269	4,478
退職給付に係る調整額	△371	△40
その他の包括利益合計	131	3,317
四半期包括利益	11,315	14,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,270	14,490
非支配株主に係る四半期包括利益	45	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	15,663	15,894
減価償却費	3,629	4,177
のれん償却額	475	581
退職給付に係る資産負債の増減額	△717	△180
受取利息及び受取配当金	△386	△423
支払利息	1	3
固定資産処分損益 (△は益)	27	98
投資有価証券売却損益 (△は益)	△55	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△377	△1,676
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,571	△6,017
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,342	△4,185
未収消費税等の増減額 (△は増加)	2,460	3,413
その他	1,022	△43
小計	11,830	11,639
利息及び配当金の受取額	387	323
利息の支払額	△1	△3
法人税等の支払額	△5,239	△5,978
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,976	5,981
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	100	1,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,945	△5,159
有形及び無形固定資産の売却による収入	52	11
投資有価証券の取得による支出	△175	△133
投資有価証券の売却による収入	152	42
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,348	—
定期預金の預入による支出	△33	△34
定期預金の払戻による収入	72	63
その他	△18	△55
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,144	△4,265
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△2,896	△3,375
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出	△195	—
その他	△12	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,104	△3,416
現金及び現金同等物に係る換算差額	200	1,658
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,072	△41
現金及び現金同等物の期首残高	60,388	59,538
現金及び現金同等物の四半期末残高	59,316	59,496

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、当グループの各拠点においては感染拡大リスク低減のための対応を実施した上で事業活動を継続しております。新型コロナウイルス感染拡大を契機とするテレワークの普及などを受け、サーバー・ネットワーク等のインフラ、パソコン、スマートフォン、さらにはこれらを支える半導体関連分野における設備投資が見込まれます。一方で、新型コロナウイルス感染症は世界的な広がりを見せているため、現時点では世界経済への影響がしばらく続くことを想定して、業績予想及び会計上の見積りを行っております。なお、不確実性がさらに高まった場合には、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	67,891	3,578	71,469	1,088	72,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	4	112	116
計	67,896	3,578	71,474	1,200	72,675
セグメント利益又は損失(△)	16,551	△299	16,252	△16	16,235

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	16,252
その他の区分の利益又は損失(△)	△16
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△1,477
四半期連結損益計算書の営業利益	14,762

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ロボット ソリューション	マシンツール	計		
売上高					
外部顧客への売上高	71,508	5,325	76,834	1,835	78,670
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	—	13	80	93
計	71,521	5,325	76,847	1,915	78,763
セグメント利益又は損失(△)	15,885	△314	15,570	△39	15,531

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、制御機器製造、電子機器製造及び画像処理開発等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	15,570
その他の区分の利益又は損失(△)	△39
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△1,732
四半期連結損益計算書の営業利益	13,803

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. その他

(1) 受注及び販売の状況

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	72,844	91.7	67,891	93.6	49,241	89.3
マシンツール	4,995	6.3	3,578	4.9	5,103	9.3
報告セグメント計	77,839	98.0	71,469	98.5	54,344	98.6
その他	1,624	2.0	1,088	1.5	796	1.4
合計	79,464	100.0	72,558	100.0	55,140	100.0

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	79,743	90.9	71,508	90.9	65,533	90.2
マシンツール	6,267	7.1	5,325	6.8	6,586	9.1
報告セグメント計	86,010	98.0	76,834	97.7	72,119	99.3
その他	1,711	2.0	1,835	2.3	525	0.7
合計	87,722	100.0	78,670	100.0	72,645	100.0

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

セグメントの名称	受注高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	受注残高 (百万円)	構成比 (%)
ロボットソリューション	149,860	91.7	136,863	92.4	57,298	90.1
マシンツール	10,064	6.1	8,106	5.5	5,644	8.9
報告セグメント計	159,925	97.8	144,969	97.9	62,943	99.0
その他	3,547	2.2	3,159	2.1	649	1.0
合計	163,473	100.0	148,128	100.0	63,592	100.0

(2) 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	3,509	35,202	12,283	6,365	2,139	7,566	824	67,891
マシンツール	1,409	772	359	636	339	55	5	3,578
報告セグメント計	4,918	35,975	12,642	7,001	2,479	7,621	829	71,469
その他	1,084	—	4	—	—	—	—	1,088
合計	6,003	35,975	12,647	7,001	2,479	7,621	829	72,558
構成比(%)	8.3	49.6	17.4	9.7	3.4	10.5	1.1	100.0

当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	2,830	26,380	20,911	8,571	4,383	6,837	1,592	71,508
マシンツール	2,067	681	122	1,274	939	237	1	5,325
報告セグメント計	4,898	27,062	21,034	9,846	5,323	7,075	1,593	76,834
その他	1,830	2	2	—	—	—	—	1,835
合計	6,729	27,064	21,037	9,846	5,323	7,075	1,593	78,670
構成比(%)	8.6	34.4	26.7	12.5	6.8	9.0	2.0	100.0

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 百万円)

セグメントの名称	日本	中国	他アジア	米国	他北米	ヨーロッパ	その他	合計
ロボットソリューション	9,751	69,272	25,531	11,932	3,818	14,473	2,083	136,863
マシンツール	3,343	1,419	502	1,381	1,210	199	48	8,106
報告セグメント計	13,095	70,691	26,034	13,314	5,028	14,672	2,131	144,969
その他	3,148	2	7	—	—	—	—	3,159
合計	16,244	70,694	26,041	13,314	5,028	14,672	2,131	148,128
構成比(%)	11.0	47.7	17.6	9.0	3.4	9.9	1.4	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

参考資料

2023年3月期 第2四半期決算発表

2022年11月7日

株式会社 F U J I

(コード番号 6134 東証プライム・名証プレミア)

1. 当期の連結売上高・収益の第2四半期連結累計期間実績と通期予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期連結累計期間実績	78,670	8.4	13,803	△6.5	15,992	4.9	11,180	0.1
通期予想	165,000	11.4	30,000	5.4	32,000	6.9	22,400	5.7

2. 当期の連結受注高・売上高の第2四半期連結累計期間実績と通期予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(百万円未満切捨)

セグメントの名称	受注高		売上高	
	第2四半期連結累計期間実績	通期予想	第2四半期連結累計期間実績	通期予想
ロボットソリューション	79,743	130,000	71,508	148,000
マシントール	6,267	14,500	5,325	13,500
その他	1,711	3,500	1,835	3,500
合計	87,722	148,000	78,670	165,000

3. 当期の主な科目の第2四半期連結累計期間実績と通期予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(百万円未満切捨)

科目	第2四半期連結累計期間実績	通期予想
設備投資額	4,536	11,300
減価償却実施額	4,177	8,600
研究開発費	4,259	8,200